



イベントカレンダー



魚類調査と展示&川掃除

と き 1月10日(土) 9:00～12:00 頃
※毎月第2土曜日に開催

ところ 黒目川・東林橋付近
(東武東上線「朝霞台」・JR武蔵野線「北朝霞」を下車、
黒目川左岸を上流に向かって徒歩8分)

内 容 魚をとり、「調査」と「水族館」展示をします。
持ち物 (魚を捕りたい人は)川に入れる格好、
あれば魚類図鑑、ごみ拾いだけでも大歓迎

主 催 黒目川に親しむ会

問合せ先

TEL: 048-466-0916(藤井)

埼玉県内一斉ガンカモ調査《柳瀬川エリア》

と き 1月11日(日) 9:00～11:00 頃
※雨天順延 1月12日(月・祝)

ところ 志木大橋のたもと(下流の右岸側/テニスコート裏)集合
志木大橋～柳瀬川・新河岸川合流点まで

持ち物 双眼鏡、季節の対策、あれば野鳥図鑑 など

主 催 (財)埼玉県生態系保護協会
(柳瀬川担当: 同協会志木支部・富士見支部)

協 力 NPO法人エコシティ志木

問合せ先

TEL: 048-473-4909(山崎)

環境シンポジウム
平成の名水百選記念イベント

と き 1月24日(土) 10:00～

ところ 東久留米市役所内 市民プラザ

内 容 小堀洋美教授(武蔵工業大学)講演会、
湧水調査の報告、DVD「湧水落合川」
の上映、名水百選に関わる展示 など

主 催 東久留米市市民環境会議・東久留米市

問合せ先

東久留米市環境政策課 TEL: 042-470-7753

さいたま緑の森博物館《1月開催行事》

◇ビオトープ体験教室(里山教室・鳥観察)

と き 1月10日(土) 9:30～12:30
参加費 100円
定 員 20名

◇日曜自然観察会

と き 1月18日(日)・1月25日(日) 9:30～12:30
参加費 100円
定 員 20名 ※詳細は要問合せ

問合せ先

埼玉県「さいたま緑の森博物館」
TEL: 04-2934-4396
URL: <http://saitama-midorinomori.jp/>

事務局だより

新河岸川流域フォーラムへのご参加・ご協力

ありがとうございました！

フォーラムでは、発表や展示物等でのご協力や当日のご参加をいただきありがとうございました。おかげさまで賑やかな会を開催することができました。今後の活動としては、2月に「第5回川でつながる発表会」の開催を予定しています。学生さんの活動を知り、参加者同士が交流できる場にしたと思いますので、ご参加をよろしく願いいたします！



17団体もの展示がありました

川づくり連絡会に参加してみませんか？

原則第2火曜日に新河岸川流域川づくり連絡会を開催しています。参加希望の方は、下記事務局までお問い合わせください。(開催場所はお問い合わせ時にお知らせします。)

しんぶん「里川」掲載情報を大募集します！

各流域や地域での活動報告やイベント情報を募集しています。身近な情報などをお手紙またはFAX・メールにて事務局までお寄せ下さい。

■連絡先

新河岸川流域川づくり連絡会 事務局
(国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 調査課内)
〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1
TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346
URL <http://www.ara.go.jp/arage/shingashi/>
E-mail shingashi@ara.go.jp

THE SHINGASHI BASIN NEWS
新河岸川流域しんぶん

VOL. 55

発行 ●新河岸川流域川づくり連絡会 (荒川下流河川事務所 調査課内)
住所 ●東京都北区志茂5-41-1 TEL03-3902-3220 FAX03-3902-2346
発行日 ●平成20年(2008)12月10日



切り絵 毛利将範

目次

- P2 報告: 2008年度 新河岸川流域 秋の川まつり
- P3 寄稿: みどりと川の再生埼玉フォーラムイン飯能
連載: 流域の川をたずねて(3)
- P4 イベント・事務局便り
- P5 特集: 2008年 新河岸川流域フォーラム開催報告

川を渡る風に秋を感じたのは、ついこの間。と思ううちに日もだんだんと短くなり、街では年末の喧騒が聞こえる季節になってきました。気温の変化が大きい時期になりますので健康にはくれぐれもお気を付けください。

今号では、3か所で行われた秋の川まつりの報告と、11月に開催された新河岸川流域フォーラムの様子を掲載しています。師走の慌ただしさに疲れたら、気分転換に川に出かけてみてはいかがでしょうか？

2008年度 新河岸川流域 秋の川まつり

夏の新河岸川流域川まつりリレーフェスティバルに引き続いて、流域内3カ所で秋の川まつりが開催されました。夏の川まつりとは一味違い、過ごしやすい秋空の下で行われた3つのイベントを取材しました。

報告



川まつりの開催場所

手作りこだわり、学び語らう、川と地域の将来

《白子川源流まつり 2008》



大泉南小学校4年生による「白子川博士になろう」



ペットボトルに魚はかかっているかな？

【主催】白子川源流まつり実行委員会
10月12日(日)、大泉井頭公園で開催され、十数種類に及ぶ企画が催されました。ステージでは、ホタル復活を目指したトークショーや、地元の小学校の児童らの発表が行われました。盛りだくさんの内容に、参加者も関心していました。

前日の準備中、公園にいた子ども達から「あしたの源流まつり、知ってるよ」との声が上がりました。代表の菅沢さんは、祭りが地域に根付きつつあることを知り、嬉しくなったそうです。



稲ワラで字が書けた！



ホタルの幼虫を展示！

歩いて、見て、聞いて感じる身近な川 《第12回越戸川まつり》



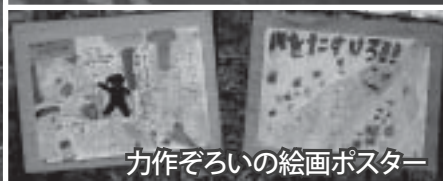
ここに魚がいそうだよ！



家族みんなで楽しい芋掘



ペットボトルで浮いてるよ！



力作ぞろいの絵画ポスター

【主催・共催】和光自然環境を守る会・埼玉県朝霞県土整備事務所
10月25日(土)に赤池親水公園(和光市)で開催されました。和光市駅からのスタンプラリーに始まり、ステージ、模擬店、川遊び、芋掘りなどのイベントが行われました。また、芋掘りのために主催者自ら育てたさつま芋は一部を蒸かし、会場で配られました。ほかほかのお芋は、みんなに大人気でした。

川まつりで深める地域のきずな 《黒目川・秋の川まつり 2008》

【主催】埼玉県朝霞県土整備事務所

11月16日(日)に朝霞県土整備事務所で開催されました。あいにく雨模様の天候でしたが、市民団体、大学、消防署、警察署など多様な団体が展示や実演を行いました。午前中行ったゴミ拾いでは、ゴミが少なく日頃の清掃活動の努力を感じました。黒目川産鮎の塩焼きの販売もあり、川の恵みに触れるいい機会となりました。



この魚の名前知ってるよ！



流域の団体によるパネル展示



側溝まで丹念に見て歩きました



魚どりのプロ直伝 伝統投網体験

寄稿

みどりと川の再生埼玉フォーラムイン飯能 「飯能河原で遊ぼう！」を開催しました

埼玉県県土整備部水辺再生推進室

10月25日(土)に、入間川の飯能河原で、水切り、カヌー、投網などの川遊びの体験イベントを開催しました。それぞれの達人に集まっていただき、その技を伝授していただきました。

「熊谷水きり倶楽部」の森川寛さんに技を教わった後、水切り大会を行いました。上手にできた方には、達人から「熊谷水切り名人認定証」が授与されました。

また、「駿河台大学」や「いるま川筋文化ネットワーク」のカヌーの達人の皆さんに教わり、カヌー体験を行いました。参加した子どもたちは、初めてにもかかわらず、達人の指導のもと、紅葉の入間川を

スイスイと巧みに操船していました。

このほか、河原の石を使ったアートづくり、投網の体験、ニジマスのつかみ取り、アクリルたわしづくり、水辺のコンサートを行いました。

子どもたちに「きれいな川の楽しさ」を体験していただき、川のファンになってほしい、また、大人の皆さんには、子どもたちが遊ぶ姿を見て、そのような川が増えるように川の再生への運動に参加してほしい、私たち埼玉県は、このような思いからこのイベントを企画しました。大勢のご来場、ありがとうございました。



カヌー体験



水切り大会

流域の川をたずねて《3》 ～舟をめぐる人々の暮らし～



舟問屋伊勢安(埼玉県川越市下新河岸)

荷揚げされた物をどうやって運んだの？

馬が引く大八車(木製の車)に荷物をのせて運んだんだ。陸上で荷物を運ぶのは、馬方という職人の仕事だったんだよ。

舟の航行以外にもいろんな仕事があったんだね！

舟運に関する仕事をしていれば、航行の安全が気になるところ。新河岸川では、安全を祈願する大杉様(大杉神社)の信仰が船頭を中心に広まったんだよ。

「舟問屋」って言葉を聞いたことがあるかい？ 新河岸川で江戸と川越が結ばれ、しばらくすると、舟運による荷物運送の仲介を仕事とする人が現れたんだ。それが「舟問屋」だよ。

そうすると、舟問屋は河岸のそばにあって、荷物を積み下ろしたり倉庫で一時保管したりしていたんだね。ところで、一体どんな物を舟で運んでいたんだろう？

川越から江戸へは、米、麦、雑穀、しょうゆ、油かすなどが運ばれていたことが文書に記されているよ。江戸(東京)からは石材や海産物、珍しいものとしては、熱海温泉の樽詰めを運んだこともあるんだよ。



荷物の運賃を示した文書(齋藤文夫氏所蔵)

監修：齋藤貞夫

みんなであつめる、流域の治恵！

2008年度 新河岸川流域フォーラム開催報告



新河岸川流域には、川づくりや総合治水対策に関するひと・もの・場所・活動などさまざまな『流域の治恵』があります。今年度のフォーラムは、多くのみなさんに『流域の治恵』と自分のつながりを考えていただき、川づくりや総合治水対策への理解が広まることを目的に開催しました。

● プログラム ●

- 13:00 開会、挨拶、プログラムの説明
- 13:10 【話題提供】本当にあった、新河岸川の話！
- 13:40 交流休憩時間
- 14:15 【報告発表】流域自慢大会（前半）
- 15:00 交流休憩時間
- 15:20 【報告発表】流域自慢大会（後半）
- 16:00 総括、閉会

本当にあった、新河岸川の話！

昭和 57 年 9 月の台風 18 号の浸水被害

ふじみ野市

当時は、防災を統括する部署や災害対応マニュアルがなかった時代でした。そのため建設部を中心に災害対応にあたり、職員が住居を一軒一軒回り避難を呼びかけました。その間も、お風呂に水を入れるように目に見える速さで水位が上がっていききました。写真は、地元の消防団と消防署が舟で市民の救助に向かうときの様子を写したものです。



新河岸川舟運の栄枯盛衰

さいたま民俗文化研究所調査員 高木文夫氏

新河岸川の舟運は、江戸時代初期に川越へ再建資材を運搬したことに始まり、約 300 年間続きました。日露戦争時に戦地に送る麦俵を志木河岸から運び出すところが記録写真として残っています。その後、明治 43 年の大水害を機に行われた河川改修工事、大正 3 年の東上線の開通を経て、鉄道輸送と入れ替わるように舟運は徐々に衰退しました。



流域自慢大会

総合治水対策に協力して下さい

- ① 普段から川に興味をもち情報を集める川の活動に参加する
- ② 大雨が降っている時にはできるだけ水を流さない
- ③ 雨水をためたり、染み込ませたりすることに協力する

総合治水対策ってなんだろう？

国土交通省 荒川下流河川事務所

急速に市街地化が進む地域では、川の整備とあわせて流域対策を行う「総合治水対策」が必要です。大雨とき、水をできるだけ流さないことは、市民にできることのひとつです。

雨水貯留浸透のススメ

(社) 雨水貯留浸透技術協会

「浸透ます」と「浸透トレンチ」を併用すると、1 分間に 80ℓもの雨水を浸透させることができます。大切な雨水の貯留・浸透について皆さんも一緒に考えましょう。

ふじみ野市の雨水対策

ふじみ野市

雨水貯留施設(遊水地)を有効利用しています。平成 15 年 11 月、全国初の公設民営ドッグランとして運用を開始しました。愛犬家協会が年会費を活用して維持管理を行っています。

朝霞本町商店会水族館の取り組み

朝霞本町商店会

地元にあえられる商店会を目指し、現在 30 店舗で黒目川の魚を展示中です。水族館の企画を通じて、お客さんとの会話のきっかけができ、さらに会員同士のつながりが深まりました。

新河岸川流域における水環境の保全活動

法政大学水文地理学研究室

流域内の小学校校歌の歌詞から、川や流域がどう認識されているかを調査しました。今後は、治水や水環境に対する住民意識をアンケート調査で明らかにしたいです。

自慢話 不老川！

不老川流域川づくり市民の会

一生懸命守ってようやく残されているのが今の自然環境で、守るだけで生活のない疑似自然もあります。貴重な河畔林を今後も残していくため、市民からの情報発信を行っています。

オオバクサ・アレチウリ駆除作戦

NPO 法人エコシティ志木

柳瀬川河畔に生育する外来植物の駆除を続けています。今年、志木市の柳瀬川では種子をつけさせないことに成功しましたが、新河岸川まで手につけられない状態です。

第 1 回きよせ川まつり 2008

川づくり・清瀬の会

この夏、行政及び企業の協力のもと、市民団体と実行委員会を立ち上げ、役割を分担して開催しました。多くの子ども達に川あそびの体験をさせたく、今後も続けて行きたい行事です。

生きた曲った川は宝

柳瀬川流域ネットワーク

柳瀬川の屈曲部で定点観察を行っています。増水で砂や石が動きやすい河床は、自然のバランスを保ち、河畔の植物に多様性を生みだします。これが曲った川の魅力です。

白子川源流の現状

白子川源流・水辺の会

白子川源流の湧水は、雨が降らないと枯れてしまいます。「浸透」や「利水」を本格的に運用する考え方に転換し、健全な水循環を回復させ、水辺を保全・再生すべきと考えます。

パネル展示 参加団体

新河岸川流域川づくり連絡会
新河岸川水系水環境連絡会
不老川流域川づくり市民の会
所沢源流の会
北川かつぱの会
川づくり・清瀬の会
NPO 法人エコシティ志木
八幡町川クラブ
朝霞本町商店会
法政大学水文地理学研究室
埼玉県立福岡高等学校
埼玉県立富士見高等学校
国土交通省荒川下流河川事務所
埼玉県
東京都
ふじみ野市
(社) 雨水貯留浸透技術協会

豆知識

「総合治水対策」とは、川の整備だけでなく、水をためたり、しみこませたりする対策などを総合的に行うことをいいます

◆「川でつながる発表会」を平成 21 年 2 月上旬に開催します◆

日時と場所は、決まり次第「新河岸川流域川づくり連絡会」のホームページでお知らせします。